

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その3）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2023 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の12企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

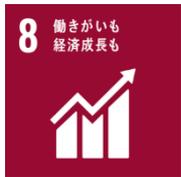
◇ 企業紹介

【きもの&宝石クリニックたかい】

良品廉価をモットーに、「きものことなら何でも相談できるお店」であることを目指しております。長年、名古屋長者町呉服屋に勤務した後、全国の染織産地との交流を生かし、小規模店舗ながらも産地直送・問屋価格にてご案内しております。



【HP】 www.komono-takai.com

| | | | |
|--------------------|---|---|--|
| 関連する 主な SDGs |  |  |  |
|--------------------|---|---|--|

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・たくさんの人たちと交流することで、いろいろな意見が分かってとても楽しかったです。A4の紙に自分の意見を書き出していくのはすごくワクワクしました！また、着物をランドセルに変えるという発想がすごくステキで私が小学生だったら使ってみたいと思いました。また、着物がタンスの肥やしになってしまっていることにも驚き、それらをどうしていくかが私たちに出来ることだなと思います。

・私の祖母や母が着物や浴衣が好きで、大切に保管していたので、好きな人や、小物として使いたい人は多いと思います。特に海外の方は和柄に興味があると思います。だから、ブックカバー等にしたり、着付けをしてもらえるところが増えるといいなと思いました。個人的には、結婚式で両親に生まれた時の体重で渡すぬいぐるみ（ウェイトベア）などもいいと思いました。私は着物大好きなので、ぜひいろんな人に使ってほしいなと思いました。ありがとうございました！

・全国のタンスの中に8億点、市場価格にすると40兆円もの着物が眠っていることがわかった。また、シルク100パーセントの着物などが着られないまま燃やされていることを知

った。このような問題を解決するために、着物をリサイクルしたりイノベーションをしたりすることができる分かった。私も、家に眠っている着物を再利用したり身近な課題を既存知×既存知で解決に導いたりしていきたい。

・呉服にはなかなか触れる機会がなくて、このような話を聞くことで、知識や興味が増えて良いなと思いました。関わる事が少ないだけあって、とても厳しい産業のように感じていました。だから反物について知ったり、色々な形に活用すると見方が新しくなって、とても魅力のあるものができるのではないかなと思いました。また、タンスに眠っている着物がより一層もったいなく感じました。

・タンスに眠っている着物をグループワークや着物屋さんの方のお話を通して、色んな使い回し方法を考えられたので良かったです！途中で出てきたランドセルの裏側を着物にするという意見が自分では考えられなかったことで、すごく良いと思いました。50歳以上の方のタンスに3着も着物があると考えるともったいなく感じるし、日本の文化に蓋を閉めているようで悲しいので今日考えたことが実現できたら良いなと思いました今日は貴重な体験ありがとうございました。

・自分が思っていたのと別の方向の「着物」という点からSDGsについて考えているのだなと少し驚きました。着物というのはたぶん自分で買った洋服とかよりも思い入れが深いと思うから、中々片付けるとか手放すというのはできないのではないかなと思いました。でも、他の形にして取っておくこともできるから、そういうことをたくさんの人に知ってもらって、他の人の手に渡ったり、形を変えて再利用する人が増えたらなと思います。

・"着物を着る"のは、様々な工程を踏まなければならないので時間が掛かりますが、別のものに変えることで新しい用途で使える、という所が着物の利点だと思います。昔の人は、使えなくなるギリギリまで、着物をリサイクルして使っていた、という事を聞いた事があります。着物だけでなく、今使っているものを使えなくなるギリギリまで使い古す事で、ゴミも減るのではないかなと思います。リサイクルを意識して生活していきたいなと、改めて思う事が出来ました。お忙しい中お時間を頂き、本当にありがとうございました。末筆ながら、たかい様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

・今回の講義で、着物について、着物の現状についてよく知ることができました。タンスの中で眠っている着物が、日本だけで8億点あることには本当に驚きました。また、たくさんの思いが詰まっている着物が可燃ごみで捨てられてしまうこともある、という現状にも驚いたし悲しくなりました。自分の家や祖父母の家に、タンスの中で眠っている着物がないか探してみようと思います。着物の現状を見て見ぬ振りするのではなく、新しいことに進んで挑戦しようとする姿に、自然と勇気をもらえた気がしました。貴重なお話ありがとうございました！

・きもの&宝石クリニックたかい様、今日は面白い講義をありがとうございました。私の身の周りには着物を持っている人がいないので、億を超えるほどにたくさんの着物がタンスに眠ったままであるという事を知りとても驚きました。私は着物や浴衣など、和服が大

好きなので、これからもこの着物文化がより良く残っていくといいなと感じました。これからも仲良くお仕事頑張ってください！

・今回の講義を聞き、着物はただ着るものではなくリサイクルとして、小物にしたり鞆の内側の部分に使ったりすることができることに興味がわきました。また、背の低い人用に作られた着物でも背の高い人用に変えられることにも驚きました。私は、着物をまだ一着も持っていないので今回を気に買ってみようと思いました。そして、さらに着物についてもっと知りたいと思えました。今日は、1時間半わかりやすく紹介していただきありがとうございました。

・多くの家庭のタンスの中に、着物が眠っていて、焼却処分されることがほとんどだという現実には悲しいなと思いました。着物はおしゃれだし、高価なものだと思うので、必要としている方に繋げるべきだと思いました。リサイクル着物素敵です。和柄はかわいいので、小物や、日常生活で使うものになったら、私も欲しいし、そう思っている若い人は多くいるように感じます。毎年、夏祭りに浴衣を着て出かけたいと思うので、着物や浴衣など、利用する形は変われど、この文化を大切にしたいと思いました。

・着物がタンスにねおっている数が8億点もあり、それが40兆円にもなることに驚きました。着物はカバンや巾着などと掛け合わせてアレンジすることが可能です。着物はデザインが可愛く唯一無二な感じがあるのでいい商品になりそうだなと思いました。どのような商品と合わせたら世間に注目されるかなど、自分たちで考えるのは創造力が必要で難しいなと思いました。

・この話を聞いて、着物はかなり身近にたくさんあってタンスに眠っている着物が多いことがわかった。8億点の着物がタンスに眠っていてその市場規模が40兆円になると聞いてとても驚きました。また、世の中のものは何かと何かを掛け合わせてできているものがほとんどで、最近ではあまり使う機会が減った着物も同じように○×○=○の考え方で活用するのはとても良いことだと思いました。

・様々なことを学びました。初めて聞いた事や、将来のための経験を積むことができすぎて良かったです。働くことへの興味関心がものすごく深まることができよかったです。リサイクルするためにも色々なこと考え、着物をリメイクしたり小物にしたりと大切にしている事がとても伝わりました。このような経験はなかなか出来ないのでもとても良いことを学ぶことが出来ました。